

阿智村教育委員会 令和2年10月定例会会議録

- 会議日時 令和2年10月23日(金) 午後1時30分
- 会議場所 阿智村中央公民館会議室
- 出席者 教育長：黒柳紀春 教育長職務代理：原 勝人
委員：原 彰彦 委員：熊谷 歩
【事務局】
教育次長：熊谷修一（全体進行）
公民館兼社会教育係長：川上 悟
子育て支援室長：島岡佐喜子 学校教育係：熊谷 宏
学校教育専門主事：羽生武彦 学校教育専門主事：川上清宏
児童家庭相談主事：宮澤麗子
（欠席）保育園総園長：原 満 学校給食係長：石原哲成

1 教育長あいさつ

・第2回村議会臨時会について

9月の議会定例会で承認されたパソコン購入事業の売買契約の締結について、臨時議会でお認めいただいた。金額3,630万円。台数472台。教育委員会としてはICT教育の推進をより一層進めていかねばならないと実感するところです。勝野議員から「今後GIGAスクール構想をどのように推進していくのか」質問があった。学校や教員への支援、家庭における経済的支援、家庭学習の支援等課題は多い。また、平成29年に教育誌に掲載された阿智村学校教育の基本目標についても見解を問われた。答弁をご覧いただきたい。

・チャレンジゆうAchi第2回理事会について

教育委員会はチャレンジゆうAchiに年間400万円の支援をしている。この1年半、事務局が精力的に事業を推進していることに感服した。NPO法人の立ち上げから運営、各種会議やイベントの開催等、多岐に亘り事業を展開している。

(原彰彦委員)

この前の校長会の中で私たち教育委員が知っていなければならいことがあったのではないかと思っている。LDのサテライトの関係については教育委員会で話がされなかった。それについてお聞きしたい。

(教育長)

以前から第三小学校を中心に学校関係者と子育て支援室が検討してきた案件であり、具体的な動きについては事務局として最近知ったところである。事務

局としては西部3村の教育委員会で一緒に要望するのが必要と考え、急きょ対応したのが実態。要望書段階であるため、校長会で扱い委員にも情報共有できればと考えた。

(原彰彦委員)

時期の関係で教育委員会にかけずに動かなければならないこともあると思う。それはわかるが、できる限りそのようなものはこのような方向でやっていきたいと思うがどうですかと説明していただきたい。教育委員として事務局に対してチェックしなければいけないという役目がある。できる限り新しいことが始まったり方向を示す時には「どうですか」と言っていただければ、そこで私たちは参加できる。もう決まったからそうだという形ではないようにしてもらいたい。そうしなければ教育委員としての意味がない。

(教育長)

ケースバイケースではあるが、こうしたご意見もありますので大事にしながら進めて参りたい。事務局すべての対応を取り上げるのはなかなか難しいが。

2 協議事項

(1) 生活・生徒指導支援状況について

・羽生学校教育専門主事、児童家庭相談主事、子育て支援室長より説明

(原彰彦委員)

よい形になっていくと思う。このように進めていってもらいたい。

(原勝人委員)

学校と教育委員会が強く連携しながら取り組んでいることに感謝する。

(教育長)

今後の経過については状況を見ながら適宜報告させていただく。

(2) その他

3 報告・連絡事項

(1) 各係より

① P T A連絡協議会について

・教育次長より説明

② 放課後子ども教室について

・子育て支援室長より説明

③ 阿智祭について

・公民館兼社会教育係長より説明

④ チャレンジゆう A c h i の運営及びトップアスリート講演会について

・原勝人事務局長より説明

(原彰彦委員)

日本総研とはどのような会社なのか。

(原勝人委員)

調査・研究を行うシンクタンクである。

- ⑤ 日本福祉大学の自治体推薦について
 - ・学校教育係より説明
- (2) 11月定例教育委員会の開催について
 - ・11月19日(木)午後1時30分
- (3) その他

(閉会 午後3時00分)

教育長・教育委員 署名/捺印